

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	造血器疾患における環状鉄芽球を含む異形成の病態に関する症例集積研究 (B20-013)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部血液内科学 教授 鈴木 隆浩
他の研究機関および 各施設の研究責任者	埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 准教授 前田 智也
本研究の概要・背景・ 目的	<p>本研究では、造血器疾患における環状鉄芽球の陽性割合および <i>SF3B1</i> 遺伝子異常の割合を調べ、日本人における環状鉄芽球陽性 MDS、<i>SF3B1</i> 遺伝子変異陽性 MDS の頻度を明らかにします。そして、MDS 各病型における臨床経過の特徴について解析します。</p> <p>また、MDS 以外の疾患でも環状鉄芽球が陽性となることが報告されているため、MDS 以外の疾患における環状鉄芽球陽性割合、<i>SF3B1</i> 遺伝子変異割合も解析し、陽性症例における臨床経過の特徴について解析します。</p> <p>さらに、本研究では環状鉄芽球を検出する鉄染色法について、最適な方法の検討を行います。</p> <p>本研究は、国内の MDS 発症頻度を明らかにすること、および最適な鉄染色法を明らかにすることが目標であることから、他の施設情報も必要となるため、埼玉医科大学国際医療センターとの多施設共同研究として研究を行います。</p>
調査データ 該当期間	2016年1月1日から2030年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2016年1月1日から2029年3月31日までの間に血液内科において骨髄検査を行われた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	<p>【利用する情報】</p> <p>2016年1月1日から2030年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ(血液・凝固・生化学・免疫・骨髄・細胞遺伝学的検査)を利用します。</p> <p>また、骨髄検査および日常診療で採血を行った後に余った骨髄血、末梢血を利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提 供 および提供方法	<p>多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供します。データは電子的配信で行います。</p> <p>提供元機関の名称及び機関長の氏名 北里大学病院・病院長 山岡邦宏</p>
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の遂行のための費用は、厚生労働科学研究費および北里大学血液内科学医局研究費で賄われます。</p> <p>研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：血液内科学 診療講師 担当者：羽山 慧以(ハヤマ ケイ) 電 話：042-778-8111(代表)</p>
備 考	